

2015年 3月 4日

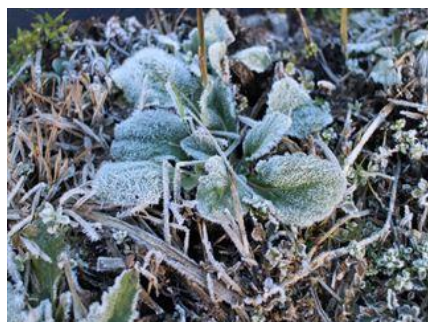
12/14：達人コース 2015/2/14：里山再生・味噌づくり

■12月14日（日）参加者：18名・・・活動内容：来年度の再生計画づくり

■2月14日（土）参加者：72名（スタッフ含む）・・・活動内容：踏耕、笹刈り、落ち葉ひろい、味噌づくり



2014. 12. 14 来年度の谷津田再生計画を考えよう！！



まだ今年度も数カ月残ってはいませんが、来年度もこの谷津田で活動をしていくにあたり、どのような場所にしたいのか、どのような活動をすればそれが実現できるのか、ということ達人の皆さんと一緒に考え計画をたてました。霜が降りている田んぼに参加者のみなさんが集い、まずは現状の把握と課題の抽出です！歩きながら谷津田の中を見て回ります。大人だけでなく、子ども達人の視点もかかせません。

まだ再生していない谷津田の中へもちろん入っていきます。



→道なき道を進んで行きます！

その結果…

素晴らしい道ができました！→
前回のレポートでご紹介しました
踏耕（ふみこう）に近いものがあり
ます。



せっかくみなさんが踏んで出来た通り道を、この先維持していきたいと思っています。（草の生命力がどれくらいか、春になればわかりますね。）帰り道、カヤネズミのすみかも発見しました。カヤネズミとは、日本で一番小さなネズミさんです。直径10センチくらいの小さな球形の巣を葉でつくります。そのため、巣は周りの植物と同化することができるようです。見つけるにくくするための知恵ですね。今回は巣のみでしたが、フィールドにいると本物に出会えることもあります。



↑グループごとに発表します

谷津田調査を終えて、待ちに待ったお昼ごはん！今日はみんなで親子丼を食べました！美味しいごはんを食べて、午後からの計画づくりに頭を使います。

まずは二つのグループに分かれて、それぞれの意見を出しあいました。



↑ポストイットにキーワードを書きこみ、谷津田の地図に配置していきます。各グループから出た様々な意見をまとめてみました。

- 子どもが作る、子どものための活動拠点（ツリーハウスなど）
- 谷津田内の道の整備
- 井戸を掘りたい
- 入口に看板を立てる
- トイレの増設
- 炭焼きの窯を設置
- 大小の池を点在させる（ビオトープ）
- うなぎの放流
- 生きもののすみやすい環境の整備
- 気象データの収集 などなど！



一人一人が思い描く谷津田の再生計画。たくさん出た意見の中から、来年度何を優先的にやるか、どのようなヴィジョンを描き活動を行うのか、しっかり話し合い来年度のスタートをきりたいと思います。

※谷津田の再生計画づくりから再生作業まですべてを行う NEC さんに習って、現在学生さんたちも耕作放棄地の再生に取り組もうとしています！（今回2名の学生さんが参加させて頂きました。）



世の中バレンタインデーのこの日、里山づくりと味噌造りのイベントにたくさんの参加者が集まってくれました。いつも開会式を行う昼食広場が日陰でとても寒かったため、太陽のあたるこの場所でイベントスタート！

今回の活動内容は、三つのグループに分かれて行います。一つはお馴染みになりつつある踏耕！再生した田んぼ（ウ田んぼ）と田んぼ（達人田んぼ）の間に荒れているまの場所があります。この間の荒れた部分を皆さんに踏んで頂き、道を繋げてしまおう！というグループです。



踏んで道が拓けた！！

二つ目のグループは、フクロウのすみやすい森にするための笹刈りを行います。達人散策路、と呼ばれる達人さんたちが開拓した道をさらに延伸することにより、道が拓け、フクロウのえさであるネズミなどが獲り易くなります。また、太陽の光が地面にあたるようになるため、土の中で眠っていた植物の種が芽吹くようになります。



↑ 作業前にお酒をまき、安全祈願をしました

↑ 子ども達も笹と格闘！



Before



After



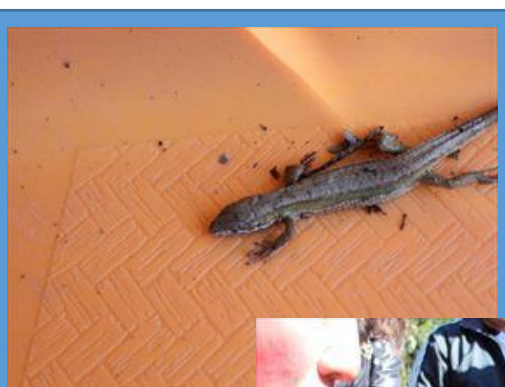
やぶやぶしたところが拓けました！春にどんな植物が見られるか楽しみです！

三つ目のグループは、落ち葉や枯れ枝を集めてカブトムシのすみかづくりを行うグループです。



竹で組んだ場所に次々と落ち葉を拾い集めて、上から踏み踏みします。

今回のこの三つのグループでの活動は、里山の再生とそこに住む生き物たちが喜んでくれるようなすみかづくりをテーマにしました。まだ寒い中の活動でしたが、生きもの達にも出会えましたよ！



眠そうなカナヘビさん。
落ち葉の下に隠れていた
のでしょうか？起こして
しまってごめんね。



びよんびよん逃げ回るカヤネズミさんを捕獲！
驚いて出てきたようです。

みんなで味噌づくり



午後からは豊作村に移動してお昼を食べ、谷津田のお話を聞きました。フィールドで活動した後だったので、子ども達からはたくさん生き物についての質問ががりました！子ども達の「なぜ？」に答える時間です。



その後、味噌造り体験プログラム開始！まずは茹でた大豆を手で潰していきます。なめらかになるようにしっかりと！

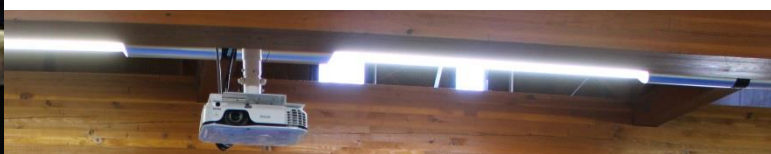
さらに、自分たちが育てたお米を使った米麴、塩を加えて混ぜていきます。

混ぜ込んだものをソフトボールくらいの大きさにまとめていきます。ん？ソフトボールよりもだいぶ大きい子もいますね。笑

発酵して、今年の秋ごろに味噌になるということです！



自分たちが育てたお米が、お酒だけではなくおいしい味噌にも！今年度上太田でのイベントはこれで終わりですが、来年度もさらに素敵な里山づくりを目指して、一緒に頑張りたいと思います！



＊お疲れ様でした＊

それでは、次回の田んぼでお会いしましょう。

アサザ基金 牧野真弓